

地域住民の一斉検診

水俣病 県総評が申し入れ

県総評（馬場昇議長）は二十二日県庁で伊藤衛生部長と松下企画部長に会い、水俣病の発生地域住民を対象に一斉検診をするよう申し入れた。

申し入れにさいして馬場議長らは①新潟でも地域住民の一斉検診をしている②水俣病は症状がすぐ出ず、かなりの年月を経たあとと発症することがあり、対策が必要で

ある、などの諸点をあげて、県の積極的措置を要望した。

また同議長らは「水俣市と津奈木町の全住民を検討の対象とすることが望ましいが、これが不可能なら、とりあえず多発地帯の住民だけでも検討すべきだ」と要望した。

これに対し伊藤衛生部長は「一斉検診を効果的にやるのは困難だが、一斉検診で患者を子エックする方法があるかどうかを研究してみたい」と答えた。